



みさき

33号

美咲町議会だより



主な内容

定例会・臨時会の報告 ————— ③～⑥

町長の施政を15議員が問う ————— ⑦～②②

議会報告会のご案内 ————— ②④

アンケートにお答えください ————— 別紙

大きく育て美咲のこども、プールに映える少女の笑顔 (かめっこ保育園)

2013年8月10日発行

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

町民参加・開かれた議会に向け 取り組みを強化

議長あいさつ

美咲町議会議長

貝阿彌 幸 善



4月の公選後に行われました初議会において美咲町議会議長に就任いたしました。

浅学非才も省みず、お引き受けし、改めてその責任の重大さに身も心も引き締まる思いでいっぱいです。

この上は、町民皆さまの負託に応え、併せて3地域の不公平感を是正し、平等性の高い行政の推進に一生懸命努めて参る覚悟でございます。

新たな議会は、新議員5名が加わり、年

齢も30歳代と70歳代とバランスのとれた議会構成となっております。

今後は、議員各位と前向きな議論を重ね、議会報告会などを通じて皆様から多くのご意見を頂戴し、開かれた議会、身近に感じてもらえる議会を目指し、一丸となって町政発展に寄与して参る所存であります。

皆さまのご協力、併せてご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

上げていただきます。

副議長あいさつ

美咲町議会副議長

岡田 壽



合併から8年、232平方kmの面積は変わらないが、人口は約二千人減の一万五千七百人。過疎、少子、高齢

化の荒波の中集落の存続を含め、誰もが10年先、20年先の地域に不安と危機感を抱いています。

美咲町だけ、中山間地域だけの問題ではありません。身近な町や地域で住民一体となり産業、教育、生活などを見つめ、考えた対策が必要です。

公選された町民代表

の議会として多様化する町民の意思をくみ取り、行政に反映し、福祉の向上に努めます。

議会の使命を果たすため「開かれ、責務を果たし、信頼され、自由闊達に討議し、公正・公平・透明性を確保する」議会基本条例に基づき活動していきます。ご協力、ご支援をお願い申し上げます。

美咲町議会

議会改革

特別委員会を設置

美咲町議会基本条例第19条の定めるところにより「議会改革特別委員会」の設置を平成25年6月定例議会において議決した。議会基本条例の検証と議員定数、議員報酬など議論を深める。

委員長	林田 実
副委員長	延原 正憲
委員	小林 達夫
委員	左居 喜次
委員	片山 剛
委員	形井 圓
委員	松田 英二
委員	岩野 正則
委員	金谷 高子
委員	江原 耕司
委員	三船 勝之
委員	松島 啓
委員	下山 和由
委員	山本 宏治
委員	岡田 壽
委員	貝阿彌 幸善

6月 定例会 の報告

.....
6月10日から
6月21日まで
.....

定例会が招集され、25
年度一般会計など補正予
算8件、専決処分1件、
条例3件、その他3件、
陳情3件などの議案が上
程された。

補正予算

一般会計へ

約4億円の

増額を可決

一般会計歳入歳出に
三億九千六百七十一万
円を増額し、総額を百
四億九千四百十万円と
し、7特別会計歳入歳
出に合わせて四千九百
七十六万円を減額する
もの。

一般会計、7特別会
計ともに全会一致で可
決、承認。

◎一般会計補正予算

【主な歳入】

☆国庫支出金

六千九百五十一万円

☆県支出金

二千七十九万円

☆繰入金

六千四百八十万円

☆繰越金

五千七百万円

☆町債

一億七千三百三十万円

【主な歳出】

★かしのき荘空調機器
改修事業費

千三百七十二万円

★かめつこ保育園修繕
事業費

九百万円

★土地改良等事業費

三千八百六十一万円

★町道改良事業費

二千五百八万円

★加美小学校プール建
設事業費

九百万円

◎特別会計補正予算

◇柵原公共下水道事業
特別会計

△二千九百八十万円

◇中央公共下水道事業
特別会計

△五千三百万円

◇統合簡易水道事業特
別会計

千四百万円

◇中央簡易水道特別会
計

千四百八十万円

◇用地取得造成事業特
別会計

九百万円

条例の制定

条例の制定が上程さ
れ、審議の結果承認し
た。主な内容は次のと
おり。

◎公共下水道条例の一 部改正

「全会一致で可決」

下水道法の改正に伴
い町条例を一部改正す
る。

◎町長等の給与及び旅 費に関する条例の一 部改正

部改正

◎職員給与の臨時特例 に関する条例

「賛成多数で可決」

国家公務員の給与減
額支給措置を踏まえ、
特別職及び職員給与の
支給額を減額する。

陳情

敬称は省略させていた
だきます。

ローラーライダー
の一斉点検等を求め
る陳情

「民生教育常任委員会
付託」
青援隊

代表 高原幸司
安全面を最優先し、
注意看板などの設置が
必要。点検は毎年行っ
ており、危険箇所はそ
のつど整備するよう意
見を付して全会一致
で趣旨採択とした。

国に対して最低賃金
引き上げ、中小企業
支援策の拡充を求め
る意見提出を求める
陳情

「総務常任委員会付託」
岡山県労働組合会議
議長 花田雅行
最低賃金の大幅な引
き上げは、中小・零細
企業の経営を著しく圧

迫させる恐れがあるた
め全会一致で趣旨採
択とした。

J A大坪和支所跡地
の有効活用について
の陳情

「総務常任委員会付託」
大坪和地区区長会
会長 小林 強

地域における有効活
用は最も望まれるところ
ではあるが、施設管理
の協議を十分に行うべ
きとの意見を付して全
会一致で採択とした。

議員発議

道州制導入に
関する意見書

道州制の導入は住
民自治の推進に逆行
し、住民に一番身近
な存在である町村の
存在を否定するもの
である。よって断固
反対する。

この内容を強く求
める意見書を日本政
府に対して送付した。

総務常任委員会報告

高齢運転者への

Iカード普及に努力を

総務常任委員会に付託を受けた予算2件、条例1件、陳情2件について審議した結果、予算・条例は承認、陳情1件は採択、1件は趣旨採択とした。また、

■主な質疑応答

【企画財政課】



地域の責任でしっかり活用を！（JA大井和支所跡地）

問 うたのしも団地に増設される宅地の区画数は。

答 13区画を予定している。

問 国からの経済対策交付金はどうなっているのか。

答 一次分は24年度で内示があった。二次分は交付金の事業算定後に申請となる。

【情報交通課】

問 高齢者が免許証を返納することで県警からIカードの発行が受けられる。町内

の対象者数は。

答 5月の段階で149人を確認している。

問 Iカードを受けるとどのような利点があるのか。

答 町では年間六千円分のタクシー券（五百円×12枚）を補助している。

◆現地を確認

議案審議に関連して☆うたのしも団地☆JA大井和支所跡地を視察

民生教育常任委員会報告

加美小学校

プール改築事業費に

1億1478万円

民生教育常任委員会に付託を受けた予算1件、陳情1件について審議した結果、予算は承認、陳情は趣旨採択とした。

■主な質疑応答

【健康増進課】

問 子宮頸がんワクチン接種で副作用があるとの報道があつ

たが、町としての対応は。

答 国からの指導があり、積極的勧奨を控えるよう医療機関に依頼している。

【住民課】

問 かめっこ保育園中庭改修の詳細は。

答 21年度に修繕しているが、ウッドデッキの継ぎ目が変形して危険である。県の

補助事業で改修する。安全性、機能性、耐久性を考えて設計施工する。

【教育総務課】

問 改築する加美小学校プールは中央

答 25メートル・5コースで、水深は両サイド1メートル・センター1.2メートルと



安全な施設で元気な子どもたちを！（かめっこ保育園）

議会運営委員会報告

検証の結果を

議会全員協議会で

申し入れ

する。幼児用プールは水深0.7メートル。小中学校ともに飛び込みが禁止されているので安全は問題ない。

【生涯学習課】

問 中央野球場の芝は張り替えではないのか。

答 張替えは多額の費用がかかる。今

回は目土などを入れて芝を更生する。

◆現地を確認

議案審議に関連して

☆加美小学校プール改

築予定地

☆かめつこ保育園中庭

☆旭小学校大規模改修

予定箇所

を視察

せて商工会が買い物支援活動を実施する。町内10地区で食料品などの移動販売を試験的に行うもの。

【建設課】

◆現地を確認

議案審議に関連して

☆町道王子線（王子）

☆町道悦向線（江与味）

☆国道429号線旭大

橋架橋状況（西川）

答 緊急性の高いものから優先順位を

を視察

産業建設常任委員会報告

買い物支援事業費

85万円を新規計上

産業建設常任委員会に付託を受けた予算7件、道路線認定など3件について審議した結果、全議案承認した。

■主な質疑応答

【上下水道環境課】

問 29年度以降は簡易水道が廃止され

上水道としての企業会計が導入される。水道料金はどうなるのか。

問 新規計上された商工振興費85万円の内容は。

答 社会福祉協議会が行っている「ふれあいサロン」に合わ

答 県から指導を受けており値上げは避けて通れない。28年度には条例改正し金額も決定しなければなら

ない。

【産業観光課】

新規計上された

商工振興費85万円

の内容は。

社会福祉協議会が行っている「ふれあいサロン」に合わ



もっと良くなれみんなの町道（王子線）

6月10日～21日までの12日間にわたって開かれた美咲町6月定例議会の検証を実施した結果、次の項目について議会全員協議会において申し入れを行った。

⑤ 50分の制限時間内で決着できる質問内容を心掛けること。

① 試行的に一般質問の日数を3日間としたが、おおむね良好であり、今後も継続したい。

② 議場での文書配布は事前に議会運営委員会でする必要がある。

③ 選挙のお礼と取れる発言があった。禁止されている事前運動となるので注意すべき。

④ 推測や憶測を前提とした発言があった。議場での発言は

臨時議会

5月10日に臨時議会が招集され、各種委員の人事案件が提案された。

人事案件

◎監査委員の選任

監査委員の任期満了に伴い委員の選任に同意した。

美咲町境

大天 嘉行氏

(再任)



美咲町打穴上

三船 勝之氏

(議会選出)(新任)



◎情報公開・個人情報保護審議会委員の委

嘱

情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い委員の選任に同意した。

美咲町西幸

杉山 倫子氏

(再任)

美咲町錦織

山本 輝文氏

(再任)

美咲町西川上

大崎 俊男氏

(再任)

美咲町久木

爲房 勝氏

(再任)

美咲町安井

山下 修氏

(新任)

◎教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い委員の任命に同意した。

美咲町打穴下

黒瀬 堅志氏

(再任)



美咲町周佐

泉 和男氏

(再任)



7月16日に臨時議会が招集され、一般会計補正予算など3件の議案が提案された。

補正予算

一般会計へ

三千万円の

増額を可決

一般会計歳入歳出に三千二百八十三万円を増額し、総額を百五億二千六百九十四万円とするもの。全会一致で可決・承認。

◎一般会計補正予算

【主な歳入】

☆国庫支出金

千九百七十三万円

☆繰越金

五百五十万円

☆町債

七百六十万円

【主な歳出】

★加美小学校プール新

築事業費

三千万円

人事案件

◎人権擁護委員の選任

人権擁護委員の任期満了に伴い委員の選任に同意した。

美咲町安井

赤堀 幸彦氏

(新任)



その他案件

◎工事請負契約の締結

工事請負契約案が上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

◇旭小学校校舎など大規模改修工事

梶岡建設(株)(真庭市)

築後22年が経過した

旭小学校の校舎・体育

館・給食棟に改修を施

すための工事を二億七

百九十万円で契約する。



改修工事が始まる旭小学校

6月11日から3日間にわたり、15人の議員が町の
施政を質しました。質問の内容は次のとおりです。

議員名	掲載ページ	質 問 内 容
下山 和由	8 ページ	1. 課題解決に積極的な取り組みを 2. 防災・防火対策は万全か 3. 農林業振興への対応は ※この他に「町特産品の市場開拓」の質問が行われました
片山 剛	9 ページ	1. 危険な駆除活動に安定した補助金を 2. 敬老事業に工夫を 3. 早急な災害復旧を 4. 心配されるいじめや不登校
左居 喜次	10ページ	1. 自主防災組織の育成強化を図れ 2. 避難所設備の充実を 3. 町道の維持管理に早急な対策を
小林 達夫	11ページ	1. 工事期間中の安全策を講じるべき 2. 町民にわかりやすく周知を 3. 住みよい町づくりのために
岩野 正則	12ページ	1. 空き家を公園化して防火対策に 2. 特別会計の赤字解消を
三船 勝之	13ページ	1. 行財政改革で財政の健全化を 2. みさきネット事業の見直しを 3. 町有地売却の経緯は
金谷 高子	14ページ	1. 受診率向上にさらなる取り組みを 2. 風疹予防に助成を 3. 心の教育にも力を
江原 耕司	15ページ	1. 住宅密集地には防火水槽の設置を 2. 家賃補助より宅地造成を 3. 来年夏から泳げるか 4. 物産センターを複合施設に 5. 井堰の管理と利用を
林田 実	16ページ	1. 定本町政 2 期目の重点施策は
延原 正憲	17ページ	1. 美作岡山道路計画の地元支援を 2. 不納欠損額の縮小対策は 3. 顧問弁護士制度の活用を
岡田 壽	18ページ	1. 郷土に誇りを持てる教育の実践を 2. 町民憲章制定は今がその時 3. 健康づくりにはラジオ体操の普及が効果的
形井 圓	19ページ	1. 登記移転と適正な課税を急げ 2. 行政が町道管理を 3. 遠方の送迎に救済策を 4. バスの地域格差解消を 5. 自宅介護者へ支援を ※この他に「美咲町振興計画」「ごみ収集場所の増設」の質問が行われました
松島 啓	20ページ	1. 子育て支援プランの検証を 2. 定住促進には単独町費でも住宅整備を 3. 有効な活用策が求められる遊休施設
松田 英二	21ページ	1. 放送設備の地域別利用を可能に 2. 鉾山公園リニューアル後の活性化策は
山本 宏治	22ページ	1. 投票所間バスの再検討を 2. 不安なく利用できる集会所に

町政を問う

質問

課題解決に積極的な 取り組みを 各事業の着実な 推進に力を入れる

答弁



下山和由 議員

問

▽少子高齢化問題▽教育問題▽災害復旧の繰越事業▽厳しい財政状況が町民福祉の向上に与える影響、これらの諸課題へはどのように考え、対応していくのか。

答

定本町長

少子化対策としては、子育て支援プランを作成し支援している。

答

泉教育長

高齢化問題では、健康づくりを重点項目としている。また、商工会と連携し、買い物支援にも力を入れる。

加、児童・生徒への指導時間の上乗せ、支援員導入、土曜日の活用など取り組んでいる。また、家庭での学習

答

矢木建設課長

災害復旧は7月～8月完成の工事がほとんどで、特に農地の復旧を優先実施している。

答

定本町長

町民の負担が増える可能性もあるが、現段階では、不足分については他の予算から振り分けている。

防災・防火対策 は万全か

問

住宅密集地への防火対策の見直し

今後の早急な対策が必要である。住民が初期消火に対応できるような設備が望まれている。

答

難波総務課長

防火については、防火意識の啓発が必要である。また、防

問

矢木建設課長

災害復旧は7月～8月完成の工事がほとんどで、特に農地の復旧を優先実施している。

答

定本町長

町民の負担が増える可能性もあるが、現段階では、不足分については他の予算から振り分けている。

防災・防火対策 は万全か

問

住宅密集地への防火対策の見直し

今後の早急な対策が必要である。住民が初期消火に対応できるような設備が望まれている。

答

難波総務課長

防火については、防火意識の啓発が必要である。また、防



防災対策に急げ河川の浚渫

答

山本産業観光課長

により、農地の休荒廃地が年々進んでいる。この現状にどのように対応していくのか。

問

林業従事者の不足から森林の荒廃が進み、特に民地の荒廃は目に余る。

山林の荒廃の防止策についてどう考えるか。

答

山本産業観光課長

専門性を持つ森林組合やかやまの森公社と連携を図り、荒廃防止に努める。

問

Rと協議の場を設ける。

答

農林業振興への対応は

農業従事者の高齢化や担い手不足

※浚渫：河川にたまった土砂を除去すること

質問

危険な駆除活動に

安定した補助金を

今年度分は補正予算
で対応する

答弁



片山 剛 議員

答 山本産業観光課長
補助金はイノシシ、シカともに一万円以内と要綱で定め計上した予算を捕獲頭数で割った額である。

有害鳥獣が増加傾向にある。また、危険な作業を伴う駆除活動であるため、各年度によって額に変動がないよう協議をしていきたい。

問 大変危険を伴う駆除班活動である。今年度分についての対応は。

答 定本町長
補正予算を組み、1頭一万円になるよう対応する。

敬老事業に

工夫を

問 敬老の日に久米郡商工会の商品券が配布されている。利用する場所がない地域もあると聞かすが、把握しているか。

答 福田保健福祉課長
商店が近くになるのか。



商品券を使いたいんだけど…

い地域、商品券の取り扱いをしている商店がない地域などがあることは把握している。

商品券の取扱い店一覧を参考に、購入以外の使い方も視野に入れた利用をしてほしい。

問 町の商品券購入額はいくらか。また、商工会の回収と差はあるか。

答 福田保健福祉課長
24年度は、454万円購入した。商工会では回収につ

いて統計をとっておらず、町でも把握はできていない。

問 商品券以外のものは考えられないか。

答 福田保健福祉課長
地域の経済効果、予算的な面など考慮し、商品券としている。

早急な

災害復旧を

問 田植えの時期を迎えているが、24

年度災害のうち、田の復旧状況は。

答 矢木建設課長
田の復旧状況は次のとおり。

	(件)	
	全体	完成
国庫補助事業	187	109
単独事業	75	47

心配される いじめや不登校

問 本町のいじめや不登校の現状は。

答 泉教育長
友だち関係の中で、行き違いなど起きてはいるが、深刻ないじめにはつながっていない。

不登校については、懸命な登校指導により、1日も登校しないケースはない。

質問

自主防災組織の
育成強化を図れ

100%の組織率を

目指す

答弁



左居喜次 議員

問

2月22日から6
月11日現在まで、警戒出動も含め、家屋
8件、林野5件の火災
が町内で発生している。火災件数・被害の軽
減には、町民の防火防
災意識の向上が特に重
要である。育成強化を
図っている自主防災組
織の更なる活性化が意
識の改革につながる。現在、自主防災組織
の組織率はどこまで進
んでいるのか。

答 定本町長

25年4月1日現



自主防災 ここから育てる地域の安心（錦織西地区）

在町内44地域で設立さ
れており、組織率は約
71%になっている。問 組織率向上に向
けてどう進める方
針か。また、組織の活性
化・充実を図るため、
どのように指導してい
くのか。

答 定本町長

組織されていないな
いところには、町や県
から個別に説明に向
き、一カ所でも多く組織できるよう努めてい
きたい。活性化・充実を図る
ため、機材の整備事業
も大いに利用し、10
0%により近づくよう
に啓発をしていきたい。避難所設備の
充実を

問

現在町では68カ
所の指定避難所が
あるが、その避難所へ
の通信手段はどうか。
っているか。避難所の設備、備蓄
品の充実についてどの
ように考えているか。

答 難波総務課長

避難所開設の場
合は、職員を配置し、
避難所と町本部との連
絡係とする。特別な機
材の整備、通信方法の
確保は現在行っていな
い。所要物資は町で確保
し、町でできない場合
は、県へ要請して調達
する。設備、備品について
は、地域で防災資機材
整備事業などを利用
し、整備してほしい。

答 定本町長

通信手段として
は、携帯電話が使える
状態であれば利用する。問 大規模な災害で
は、携帯電話はほと
んど使えない状況と
なる。無線のデジタル
化などの考えは。

答 定本町長

費用の問題があ
り、今すぐ検討できな

い。

町道の維持管理に
早急な対策を

問

世帯数の減少、
進む高齢化によ
り、町道の維持管理が
困難な地区があるが、
把握しているか。
また、今後の具体策
は。

答

遠藤企画財政課長
各地区の細かい
状態までは把握でき
ていない。町道は町が管
理すべきと考えが、
かなりの費用がかかる
ため、もしばらくは
各地区にお願いしたい。

問

このままでは、
側溝のつまりが水
害につながるなどの恐
れもあり、早急な対策
が必要では。

答 定本町長

協働のまちづく
り事業の中で草刈り費
用を出しているが、最
終的には町が面倒をみ
る。

質問

工事期間中の

安全策を講じるべき

安全対策を県に

強く要請する

答弁



小林達夫 議員

問

県道津山柵原線の塚角～大戸間は自転車や歩行者の通行帯がなく、道幅も狭い。学生など多くの利用があり危険である。

26年度から完成までに10年以上かかる改良工事が始まると聞く。完成まで町として安全策を講じる考えは。

答

矢木建設課長

県道であるため、町が何か設置することはできないが、工事現場には安全策が講じられるはずである。

問

町としては、工事期間中の安全対策、早期完成の要望活動に力を入れていきたい。

答

定本町長

危険なため、遠回りする中学生もいる。運転者から見やすくなるように街灯などの設置はできないか。

町が設置はできないが、信号機やガードマンがつくのではないか。

町民に

わかりやすく

周知を

問

介護保険の申請方法、申請先など



みんなで楽しく元気な老後（デイサービスセンター）

がわからない町民が多いと聞く。

これから介護が必要となる世代にどのような説明をしているのか。

答

福田保健福祉課長

65歳から第1号

被保険者となり、介護保険料の徴収が始まる。保険料通知に、介護保険の申請方法などわかりやすく書いたパンフレットを同封している。今後も、広報な

どによる周知に努めた

問

まだまだ知らない人が多いが、戸別訪問による説明はできないか。

答

福田保健福祉課長

地域包括支援センターに保健師が配置されている。連絡があれば、訪問して、申請方法に限らず相談も受ける。

また、民生委員など

を通じて訪問希望の情報が入れれば、日程調整の上訪問する。

住みよい

町づくりの

ために

問

美咲町振興計画の第1回目の基本計画が24年度で終了したが、その結果はどのようなものであったか。

また、結果をもとに住みよい町づくりに役立てるべきと思うが。

答

遠藤企画財政課長

現在、第2次振興計画の策定と第1次振興計画の検証を同時に行っている。検証については、第2次の計画書と同時に示したい。

答

定本町長

第1次振興計画では、24年度の人口が1万5千人と推計されていたが、24年7月1日現在では、1万5934人であった。急激な人口減とならなかった要因の検証もしたい。

質問

空き家を公園化して
防火対策に

しゅんせつ

浚渫や防火用水で
対応する

答弁



岩野正則 議員

問

住宅密集地の防火対策として、空き家を買収し、公園、休憩所、駐車場に活用するなど、安全な町づくりを推進する考えは。

答

遠藤企画財政課長
空き家を買収し、公園などに活用すれば、類焼などの被害が少なくなる可能性はある。また、防火上でも空き家は危険だと考えるが、買収費用、公園などの建設費用が多額となるため、現段階では考えていない。

問

財政面の問題もあるが、先進地の例に学び、新しい町づくりへつながる取り組みとすることも必要では。

答

定本町長
現時点では、浚渫、防火用水などの緊急措置を考えている。

特別会計の
赤字解消を

問

下水道の接続率向上への新たな取り組みと計画の見直しはあるか。また、国からの指導はあるか。

答

赤堀上下水道課長
最新の接続率は次のとおり。

	農業集落排水	公共下水道
中央地域	—	64
柵原地域	86 (飯岡地区) 65 (吉岡地区)	50

柵原地域の一部で下水道接続の計画について意向調査をした。中央地域は25年度完成

で、旭地域に計画はない。

地元説明会では、下水道の目的、必要性などを説明し、理解と協力を求め早期の接続をお願いしている。また、あらゆる機会に啓発活動をし、接続率向上に努める。

国から特別な指導はない。

答

定本町長
計画当時は人口もまだ多く、80%以上が接続希望であった。以降の人口減少と高齢化が、現在の接続希望の減少につながっている。

問

みさきネットの加入率向上について、対策をどう進めるか。

答

鈴鹿情報交通課長
みさきネットの加入状況は、テレビが約65%、インターネットが約35%である。テレビの未加入者の大半が、地元の共聴組

合に加入している。共聴組合も地域づくりの一つであり、積極的にみさきネットへの加入の呼びかけは難しい。

魅力ある番組づくりに取りかかっている。インターネットについては、パソコン教室などの開催により、まだ利用していない高齢者を加入者の増加につ

問

本来、独立採算であるべき特別会計の赤字部分は町民の負担となる。今以上に取り組みが必要。

答

定本町長
今までの踏襲になるが、広報紙やみさきテレビなどを通じ、啓発に努める。



空き家がきれいな公園に変身（津山市石坂公園）

質問

行財政改革で

財政の健全化を

公債比率は着実に

減少している

答弁



三船勝之 議員

問

25年度予算編成においても、徹底した財政改革を行うということだがその中身は。

平成22年度決算における実質公債費比率は19・2%で県下ワースト1位。平成23年度には多少改善され18・3%の県下ワースト2位であった。改善された要因は。

答

遠藤企画財政課長 扶助費は増えているが、起債の償還が減ってきているため公



加入率100%はいつになる (みさきネット)

問

数値の流れでなく行政改革の具体策が見えない。執行部における定員管理、組織の適正化、

債費比率は着実に減少している。平成29年度までの公債費負担適正化計画と財政運営適正化計画を作成している。29年度には、実質公債費比率が15%程度まで減少すると推測している。

問

みさきネット特別会計は現在、加入率60%程度で一般財源からの繰入金が多額

みさきネット
事業の見直しを

答

定本町長

財政健全化指数の数値は高い状態であるので、今後も減少に努める。

答

鈴鹿情報交通課長

である。運営の見直しが必要ではないか。サービスを安定的に提供するためには、光ケーブルおよびケーブルテレビ機器などの保守管理、アナウンス・ナレーションなどの技法、番組制作にかかる撮影の技法が必要であり、これらに係る経費である。

町有地売却の
経緯は

問

藤田上地内の町有地売却における町議との契約、原田地内の町有地売却における町議の妻との契約の経緯は。

答

定本町長

美咲町公有財産遊休地売却に関する公示を行い落札者を決定した。

議会総務委員会で遊休地については、順次

問

総務委員会から

の遊休地売却については、場所を限定している。議会への報告もなかった。

競売は複数の人が入札してこそ競売であり、町民は公示があったことも知らなかったのではないかと。事務的経緯ではなく、町長が甲で、買い手が乙とすれば、乙の方から甲に売却の要望があり、甲が公示したというのが経緯ではないのか。

答

定本町長

条例に基づいてやっていることである。

貝阿彌議長

この件については、議会運営委員会が実施される議会検証の中で協議し報告するものとする。(本誌5ページの報告を参照)

質問

受診率向上に

さらなる取り組みを

あらゆる機会に

啓発を強化する

答弁



金谷高子 議員

問

国民健康保険の1人当たり医療費が40万円と県内でトップである。医療費が上がる要因とジェネリック利用状況は。

答

福田保健福祉課長
さまざまな要因

があり、特定するのは難しい。高齢化、新薬の開発、医療技術の高度化により、今後、医療費は一層増加すると思われる。
今のところ、ジェネリック利用の統計はない。

問

特定健診やがん検診の受診率がなかなか上がらないと聞くが、目標受診率は。

また、交通手段を持たない人への取り組みは。

答

村島健康増進課長
まず、町の検診を受診すると思表示した人に100%受診してもらうことを目標にしている。本年度は、啓発活動を強力に実施する。

問

セット健診の際、一部の地域で送迎バスを運行しているが、利用者数は減ってきている。

がん検診の対策

答

村島健康増進課長
事業で発行されている無料クーポン券の利用状況が低いと聞く。どのような取り組みをしているのか。
昨年、未受診者に再度通知をする取り組みをしたが、受診率はあまり伸びないのが現状。あらゆる機会に

答

村島健康増進課長
ピロリ菌が陽性

問

ピロリ菌の除菌治療により、胃がんの発生率が下がる。このほど除菌治療が保険適用になったと聞くが、どのような利点があるか。

啓発が必要と考えている。

問

風疹が大流行している。妊婦がかかった場合、難聴、白内障、先天性心疾患など

風疹予防に助成を

でも、内視鏡で胃炎につながるっていると確認できなければ、保健適用とならないので、対策を検討している。

命を守るクーポン券。是非 検診を！

問

本町では、幼児期から積極的に英語教育に力を入れている。英語などの学力向上とともに道徳教育、心の教育が重要だが、道徳教育の現状は。

答

泉教育長
毎週1時間、年間35時間の道徳の時間のみならず、あらゆる教育活動の中で、人間としてのあり方など懸命に指導を続けている。

答

村島健康増進課長
婚活届を提出した女性を対象に助成を考えている。

答

定本町長
チャシなどにより、積極的に啓発をしていく。現在、県内で成人に助成している市町村はない。

心の教育にも力を

質問

住宅密集地には
防火水槽の設置を

自然水利の

有効活用を考える

答弁



江原耕司 議員

問

亀甲商店街の火災では、鎮火までに2時間も要したが、消防水利に問題はなかったか。

答

また、近くに皿川があるが活用できず、防火水槽の考えはないか。
難波総務課長

消防から消防水利の不足の指摘はなかったが、多いにこしたことはない。河川の自然水利が利用できれば、水不足の心配もなく、防火水槽への補給も可能となる。



これから売り出す分譲地（打穴下地区）

皿川からの自然水利の利用について、関係者の協力を得ながら、J Rと協議を進めたい。

家賃補助より
宅地造成を

問

新婚夫婦向けに家賃の助成事業があるが、助成を受けた後、転出した場合、助成金が無駄になる上に、人口増加につなが

答

遠藤企画財政課長
一定期間で転出した人の追跡調査を行っていないので、はっきりとは言えない。
分譲住宅地に家を建てて永住してもらえば、人口は増えると思

答

定本町長
住宅造成の基金を持つており、うたのしも団地の下に団地を造成する。売れたら次を考える。

来年夏から
泳げるか

問

加美小学校のプール整備について、来年夏には間に合うか。

答

桑元教育総務課長
6月定例会で補正予算を計上しており、今後、設計業者の選定など進めていく。
現在は、中央中学校と加美小学校に要望を聞いている状況。

物産センターを
複合施設に

問

以前、物産センターの拡充について質問したが、さらに文化センターも加えた大規模な施設にしてはどうか。人口増加にも

答

定本町長
かなりの事業費になると考えられ、長期的な計画が必要であり、即答はできない。

井堰の管理と
利用を

問

消防水利への利用や水路に通すために、井堰の手前は掘り下げておくべきだが、手前が埋められている場所がある。把握しているか。

答

矢木建設課長
井堰の管理については、水利権者の組合などで管理している。県が管理する河川は、浚渫工事を県に要望し、順次対応してもらっている。

町河川の調査はできていないが、災害防止のため今後調査したい。
井堰の使用目的はかんがい用で、消防水利としては適当でないと考えてる。

質問

定本町政2期目の

重点施策は

人・地域・健康づくり

をさらに充実

答弁



林田 実 議員

問

人づくり、地域づくり、健康づくりの3本の矢を唱え、2期目を迎えた定本町政だが、具体的な施策は。

答

定本町長

安心・安全のまちづくり、住んで良かった美咲町、これからも住み続けたい美咲町をキャッチフレーズとしながら、行政に反映させている。

人づくりについて、役場職員の知識、技能の向上を目指し、

問

地域づくりに関してはどうか。

答

定本町長

自主防災組織の立ち上げ、行事の開催などで、人が集まる場をつくることで自治区の活性化を図っていく。さらには、町内全体の一体感につなげていきたい。

高齢者の交通手段の確保が課題となっているが、公共交通あり方検討会議で検討を重ねている。また、買い物支援として、移動販売

問

業者へ補助金を出さず久米郡商工会と連携しながら進めていく。

逼迫した介護保険会計、国民健康

保険会計は健康づくりに影響があると思うが、どう考えるか。

答

定本町長

健康づくりに関しては、介護予防と医学予防の2点が重要だと考える。

介護保険、国民健康保険の予算をいかに少なく抑えるかが行政の使命である。それには、特定健診やがん検診の受診率向上が欠かせず、広報紙や愛育委員、栄養委員を通じて啓発をしている。

また、町が考案したコロナ体操をふれあいサロンなどを通して普及に努めている。

昨年誘致した8月1日のNHKのラジオ体操を記念して、健康に対する記念事業を考えている。



元気の秘訣はコロナ体操

提案型のまちづくり

事業として、13自治区にそれぞれ交付するのでなく13自治区の中の優秀な自治体にも交付することを考えている。区長会の会長を経

て申請してほしい。地域密着型特別養護老人ホームの充実にも力を入れた。

24時間健康相談サー

人づくり、地域づくり、健康づくりのため、生活に密着した事業をさらに充実させる。

質問

美作岡山道路計画の

地元支援を

地元の理解に

最大限努力する

答弁



延原正憲 議員

問

岡山県が進めている「美作岡山道路」計画に対する町の基本姿勢および柵原インター・湯郷温泉インター間の事業計画案の概要は。

答

國宗柵原総合支所 産業建設課長

この道路は、中国縦貫自動車道と山陽自動車道を結び、美作圏域と岡山圏域の交流を促進する自動車専用道路である。

町としては、県北、県南地域へのアクセス



地元の理解と協力が不可欠（美作岡山道路説明会）

向上や地域活性化の効果を期待しており、柵原インターチェンジについては、地域の発展にとって極めて重要なものと考えている。

今年度の計画については、平成24年から進めている環境調査を秋ごろ取りまとめた上で、環境影響評価にかかる地元説明会を開催する予定と聞いている。

問

また、道路計画ルートについては、6月27日に地元説明会を開催し平成27年度の事業化の準備を進め平成37年度完成予定と聞いている。

事業推進には、用地提供者はもちろん地域住民の理解と協力が不可欠である。

例えば移転先の確保・補償の充実、通過

答

國宗柵原総合支所 産業建設課長

地元関係者のご理解とご協力が得られるよう、町としても最大限の支援を。

問

不納欠損額の縮小対策は

「不納欠損額」とは、固定資産税や国保料金等として町の収入となるべきお金が、徴収できない欠損金となるものであり、原因分析と縮小するための努力を。

答

定本町長 町民皆平等に納めていただくのが公平公正であり、ほとんどの町民には納めていただいている。

平成22年度は6事案に18回、23年度は7事案に21回、24年度は4事案に16回の相談実績がある。

答

鳥越税務課長

原因の主なものは法人の倒産や相続人の相続放棄や居所不明者などである。滞納者への再三にわたる催告、現金等の財産調査、市町村税滞納整理組合への徴収依頼、岡山県滞納整理推進機構への引き継ぎなどにより徴収に努めている。特に悪質な滞納者には財産差し押さえなど厳しく対処している。

問

顧問弁護士制度の活用を

町は弁護士と顧問契約を締結しているのか。また活用状況は。

答

難波総務課長 合併した平成17年度末に顧問契約を締結している。

平成22年度は6事案に18回、23年度は7事案に21回、24年度は4事案に16回の相談実績がある。

質問

郷土に誇りを持てる
教育の実践を

副読本授業と地域での
体験が重要

答弁



岡田 壽 議員

問

学力テストが実施されて以来、学力向上に重点が移り、学校で地域の歴史、文化、伝統などを学ぶ機会が少ないのではない

ことは大切で必要なことである。
学校での郷土学習は、小学校3年生・4年生の2年間で町独自の社会科副読本で勉強している。副読本には町内の歴史、地理、風土、産業などが書かれており町内の様子は理解できる。

子供たちが育った故郷に自信と誇りを持ち、愛着が失われない対応を望む。

地域の学習を通して子供たちが定住できるような長期計画を求める。

答

泉教育長
郷土に愛着を持

また、小学校での田植え、芋掘り体験や中学校での職場体験で郷土学習を進めている。学校だけでは郷土学習はできない。地域で異年齢の子や大人から学ぶ機会が持てる環境ができればと願っている。地域に根付き、地域に基づく教育を展開したい。



学力とともに郷土文化の教育も大事

問

岡部副町長
定住のための長期計画は目指すところである。町の魅力の発信、今後の施策を検討しており、町の振興計画と関連させて検討する。

町民憲章制定は今がその時

町民憲章の制定には時機、タイム

答

定本町長
町民憲章で一体感を持ち目標を描くことは望ましい。今後、合併10周年を機に考

ングが必要との過去の回答があり制定しないではなかった。今年には美作の国建国1300年である。これを契機に制定する考えはないか。

問

夏休み中は告知放送を利用したラジオ体操の放送を予定している。

答

定本町長
ラジオ体操の放送アンケートで一番多かったのは「どちらでもよい」。冬季の朝6時半の時間帯はまだ暗く、就寝中の人もあり、年間を通して放送するのは難点がある。

る。

健康づくりには
ラジオ体操の
普及が効果的

問

町長が唱える町づくりの一つである健康づくりを推進するために、告知放送を利用したラジオ体操の普及は考えられないか。

答

山下生涯学習課長
ラジオ体操は健康づくりなどに身近で有効な手段であり、各種団体にCDを配布して推進している。

質問

登記移転と適正な課税を急げ

情報が入り次第

対応していく

答弁



形井 圓 議員

問

町道として利用
されているながら、
登記移転がされず、元
のまま課税されている
土地があると聞く。早
急な対応を。

答

矢木建設課長
未登記の認定町
道は約1割強あると考
えられる。申し出があ
った場合やその他の事
業で判明した場合、そ
のつど町で分筆登記を
行っていく。

答

鳥越税務課長
まず、建設課へ
相談してもらい、課税

については税務課で対
応していく。

行政が町道管理を

問

過疎化、高齢化
が進み、地元の方
だけで町道の維持管理
をするのは難しくなっ
ている。公の道路は行
政の責任で管理すべき
では。シルバー人材セ
ンターへの委託など、
雇用の促進にもつな
がるのではないかと。

答

定本町長
町道や生活道路
などは地元管理が基本
だが、地元でできない
部分については、行政
が行う。

現在シルバー人材セ
ンターや森林組合に発
注している仕事もある。

遠方の送迎に

救済策を

問

大坪和地区から
保育園など公の施
設がなくなり、送迎に
かなりの時間を要する
保護者もいると聞いて
いる。

町の施策で不便にな
ったため、救済策を考
えるのが行政の責務で
はないか。
スクールバスや巡回
バスで送迎はできない
か。

答

高田住民課長
旭保育園は3歳
以上を介助員1名が同
乗した保育園バスで送
迎している。3歳未満
は保護者による送迎
で、中央、柵原地域は
全面保護者による送迎
である。

答

定本町長
保育園は保護者
の送迎が基本である。
旭地域は合併当時の条
件などによっている
が、縮小していくべき
と考えている。



通園の往復に2時間もかかって困ってます

バスの地域格差

解消を

問

支所間バス、福
祉巡回バスなど無
料で役場に行くことが
できる。中央地域の三
保地区の場合は役場ま
でが、有料となってい
る。他の地区と同様に
無料にできないか。

答

鈴鹿情報交通課長
民間バスの区間
と町の福祉巡回バス
の区間で、有償・無償の
差がある。柵原地域の
同様の区間も含めて協
議したい。

自宅介護者へ

支援を

問

自宅介護者へど
のような支援をし
ているか。

答

福田保健福祉課長
介護の慰労金制
度、紙おむつなどの支
給事業、要介護4・5
の対象者に月額9千円
を支給する事業もある。

質問

子育て支援プランの
検証を

毎年見直しさらなる

充実を図る

答弁



松島 啓 議員

問

本町は、合併以来、近隣市町村と比べて手厚い少子化対策、子育て支援を行ってきたと言われている。

本町の子育て支援プランの中で、さらに充実するべき事業、見直しするべき事業などあるのでは。

事業効果を検証して、さらなる若者定住、人口増加につなげるべきではないか。

答

遠藤企画財政課長
子育て支援プランは、毎年見直しなが

ら事業を行っている。

本年度では、保育料の減免拡大、保育の実など行っている。

答

定本町長
保育の充実を始め、療育教室の充実、

育児支援サポーターの組織づくり、定住促進などに力を入れている。

定住促進には

単独町費でも

住宅整備を

問

定住促進のためには、分譲地の他に若者定住の住宅、低家賃の住宅が地域によ

っては必要である。

総務省から収益性のない住宅施策は控えるよう通達されているが、行政の施策は、福



大きくなったら何になる 星に願いを

祉の向上が大前提である。

単独町費の事業で、住宅整備ができないか。

答

定本町長
民間業者が建設する集合住宅との関係もあり、積極的には考えられない。

有効な活用策が

求められる

遊休施設

問

町内各地域に利用されている町

所有の遊休施設がある。

旧大坪和小学校、旭総合支所の3、4階、旧柵原西保育園、旧藤

原保育園などである。

地元の声を聞きながら、健康づくりや生涯学習の拠点施設などに使えるのでは。

答

遠藤企画財政課長
旧大坪和小学校は老朽化しており、施設全体を使用してもら

えるのであれば、賃貸、売却しても良い。老朽化が進めば建物の取り壊しも考えたい。

旭総合支所の3、4階は入口の改良が必要だが、要望があれば賃貸できる。

旧柵原西保育園、旧藤原保育園は、地元の要望が出ているので協議を進めていく。

答

定本町長
旧大坪和小学校は、建物の一部を使いたいという話も聞いている。

旭総合支所の3、4階は、27年度からの介護保険計画なども視野に入れながら有効利用できればと考えている。

質問

放送設備の 地域別利用を可能に 将来的な可能性を 研究する

答弁



松田英二 議員

問

町内には、防災行政無線で整備した屋外放送塔が28カ所設置されている。これを町づくり協議会や各地区の単位で個別に利用することができないか。

また、現在の防災行政無線条例、施行規則、運営規定は古いものがそのまま使われている。修正が必要である。

答

難波総務課長

防災行政無線を使用する場合は、無線局の免許が必要となる。この免許は役場職員が独自に取得しているため個別の利用はできない。

規則、規定などは早期に改正を行う。

問

ラストワンマイル事業で整備した

告知放送端末機は、大部分の世帯に配置されている。

かつてのオフネットワークで行っていたような各地区のコミュニティ放送として活用できないか。

答

鈴鹿情報交通課長

基本番号によるグループ分け、IDの取得、サーバーの改修、条例の改正などの手続きを踏めば技術的には可能である。

問

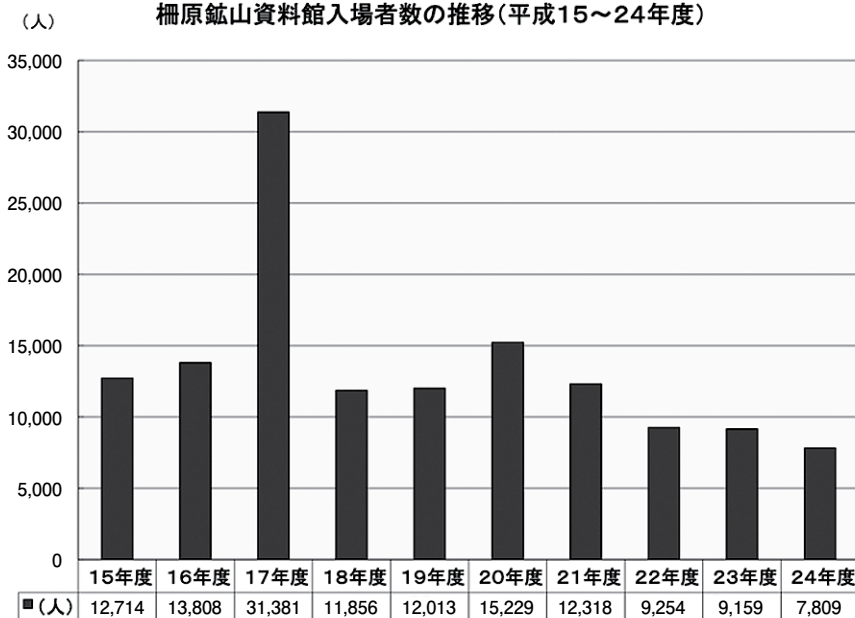
町長が進める「地域づくり」をより活発化させるためには、地域のコミュニティ放送設備を充実させる必要があるのではないか。

答

定本町長

趣旨には賛同するが、行政放送を利用する場合には公共性を重視しなければならない。クリアしなければならない課題を研究してみたい。

柵原鉱山資料館入場者数の推移(平成15～24年度)



問

柵原ふれあい鉱山公園は完成後15年が経過する。公園の拠点施設となる鉱山資料館は、平成17年度に3万人を超える

鉱山公園
リニューアル後の
活性化策は

る入館者数を数えたが、その後は年々減少し平成24年度は8千人を下回っている。今後の活性化策は。

答

山本産業観光課長

鉄道の廃線を活用した片上鉄道保存会と連携してテレビの特番、映画やドラマのロケ

問

この公園の管理は、美咲物産に指定管理委託されているが、同社の主要商品である「たまごかけごはん」「ジェライス」などを資料館内部に配置して付加価値を付け、片上鉄道の顧客、旅行社の顧客を資料館へと誘導する考えは。

答

岡部副町長

提案の内容を参考にしつつ色々なアイデアを出し、積極的に打って出ることを考えていかなければならない。

質問

投票所間バスの再検討を

選挙管理委員会での協議を続ける

答弁



山本宏治 議員

問

昨年、投票所の見直しにより、選挙当日、旧投票所と新投票所間のバス運行が始まった。開始後、3回の選挙があったが、さまざまな不満の声を聞く。

利用状況はどうか。

答

難波総務課長

昨年10月の岡山県知事選挙から投票所の再編を行い、旭、柵原地域は投票所が少なくなかった。以降3回の選挙でのバス利用状況は次のとおり。

投票所間バス運行状況（旭7路線、柵原5路線）（人）

	旭地域	柵原地域	全 体
H24.10（岡山県知事選挙）	7	11	18
H24.12（衆議院議員選挙）	15	3	18
H25. 4（美咲町議会議員選挙）	16	3	19

次回7月の参議院議員選挙でも、利用の時間帯など考慮しながらバスを運行する予定。

問

また、経費として、運転手の手当てに23万7千円支出している。利用の時間帯を用率上がるのか。この先報告してほしい。

答

難波総務課長

選挙管理委員会へ伝え、協議をお願いする。

不安なく

利用できる

集会所に

問

集会所等建設整備備事業費補助金交付事業は、用地取得、土地造成費が対象で、備品は対象外となっている。

集会所のコップ・やかん・和式トイレの上に簡単にセットできる洋式便座など、軽微な備品へも補助金を出すべきだと思うがどうか。

また、そのような問い合わせはないか。

答

池本旭総合支所長

簡易な洋式トイレ

問

レの設置や集会所への入り口をスロープにしてほしいなど要望が3件出ている。

答

中西柵原総合支所長

舗装の申請など2件出ている。

答

遠藤企画財政課長

エアコンの交換などの要望はあるが、要綱では対象外なので対応できていない。

問

集会所の利用は、コロボン体操やサロンなど高齢者が

答

定本町長

合併以前からの地域による差が補助金制度にも残っている。難しいが、集会所・コミュニティ・コミュニティセンターに対する考え方を統一し、公平公正になるよう検討している。

答

定本町長

合併以前からの地域による差が補助金制度にも残っている。難しいが、集会所・コミュニティ・コミュニティセンターに対する考え方を統一し、公平公正になるよう検討している。

答

定本町長

合併以前からの地域による差が補助金制度にも残っている。難しいが、集会所・コミュニティ・コミュニティセンターに対する考え方を統一し、公平公正になるよう検討している。

答

定本町長

合併以前からの地域による差が補助金制度にも残っている。難しいが、集会所・コミュニティ・コミュニティセンターに対する考え方を統一し、公平公正になるよう検討している。

答

定本町長

合併以前からの地域による差が補助金制度にも残っている。難しいが、集会所・コミュニティ・コミュニティセンターに対する考え方を統一し、公平公正になるよう検討している。



集会所の維持にはお金がかかります

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

津山圏域

資源循環施設組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、美咲町)
7月8日、臨時会を開催し、議長に西野氏(津山市)、副議長に岡本氏(勝央町)を選出、監査委員に鷹取氏(奈義町)を選任した。

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)
7月11日、臨時会を開催し、議長に川端氏(津山市)、副議長に沖田氏(鏡野町)を選出、監査委員に松島氏(美咲町)を選任した。

25年度組合会計補正予算一億七千四百三十二万円の減額補正など6議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎消防救急デジタル無線設備設置工事請負契約を二十億四千二百二十五万円で(株)日立製作所中国支社(広島市)と締結した。
◎津山圏域消防組合東

消防署庁舎建設工事請負契約を一億五千三百十三万円で(株)村工務店津山(津山市)と締結した。

◎救助工作車1台の購入契約を一億二千三百九十万円で(株)岡山森田ポンプ(岡山市)と締結した。

◎消防ポンプ自動車1台の購入契約を三千八百八十一万円で(株)岡山森田ポンプ(岡山市)と締結した。
◎高規格救急自動車1台の購入契約を三千

百四十七万円で岡山トヨタ自動車(株)(岡山市)と締結した。

津山広域事務組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)
7月11日、臨時会を開催し、議長に田口氏(津山市)、副議長に杉本氏(久米南町)を選出し、監査委員に小椋氏(鏡野町)を選任した。

平成25年度組合会計補正予算百八十万円を

審議、全会一致で可決した。

津山地区農業

共済事務組合

(津山市、鏡野、久米南、美咲町)
7月11日、臨時会を開催し、議長に中島氏(津山市)、副議長に小原氏(鏡野町)、監査委員に片山氏(美咲町)を選任し、条例の一部改正専決処分を審議、全会一致で可決した。

7月24日、臨時会を開催し、議長に下山和由氏(美咲町)、副議長に下山哲司氏(赤磐市)を選出、監査委員に山下氏(赤磐市)を選任した。給与の臨時特例に関する条例の専決処分を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井英田

火葬場組合

(美作市、赤磐市、美咲町)
7月24日、臨時会を開催し、議長に松田氏(美咲町)、副議長に下山氏(赤磐市)を選出し、監査委員に万殿氏(美作市)を選任した。

久米郡養護

老人ホーム組合

(静香園)

(津山市、久米南、美咲町)
7月17日、臨時会を開催し、議長に形井氏(美咲町)、副議長に山田氏(津山市)を選出、条例の一部改正専決処分を審議、全会一致で可決した。

岡山県中部環境

施設組合

(真庭市、美咲町)
7月26日臨時会を開催し、議長に長尾氏(真庭市)、副議長に貝阿彌氏(美咲町)を選出し、監査委員に近藤氏(真庭市)を選任し、職員給与の特例に関する条例の専決処分を審議、賛成多数で可決した。

柵原吉井特別養護

老人ホーム組合

(吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)



活躍が期待される救助工作車

開かれた議会をめざして

第2回

議会報告会を開催します。

美咲町議会では、議会基本条例第4条の定めるところにより「議会報告会」を下記の日程で開催します。
議会の活動を報告し、皆さんからの疑問にお答えします。

最寄りの会場へお越しください

会 場	日 時	場 所
【旭 会 場】	平成25年8月20日(火) 午後7時～9時	旭町民センター
【中央会場】	平成25年8月21日(水) 午後7時～9時	美咲町役場第2分庁舎 2階 大会議室
		中央公民館 2階 会議室
【柵原会場】	平成25年8月22日(木) 午後7時～9時	柵原総合文化センター
		北和気コミュニティセンター

編集後記

昨年10月の岡山県知事選挙を皮切りに12月には衆議院議員選挙、今年4月には美咲町議会議員選挙、そして7月には参議院議員選挙とこの1年間は選挙づくしの年でした。

見方によっては国も岡山県も美咲町もここが最も重要なターニングポイント(転換期)になるかもしれません。今後の政策実行により雇用・所得・出生率がそれぞれ増加に転じ、福祉・医療・教育が充実し、何年後かに、あの時からすべてがよい方向に向かっていった時期だったと評価できるように美咲町議会も頑張ります。

(松田記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 金谷 高子

左居 喜次

片山 剛

延原 正憲

江原 耕司

(切 り 取 り 線)

たった一人の意見が
町を動かすことだってある

アンケート
に
ご意見をお寄せください

美咲町議会

(山 折 り)

7
0
9
3
7
9
0

久米郡美咲町原田 1735

美咲町議会
「議会にひとこと」係



料金受取人払

岡山中央局 承認	7393
-------------	------

差出有効期間
平成26年3月
31日まで

〔切手を貼ら
ずにお出し
ください。〕

郵送の場合は、この部分を切り取ってください。

ファクスでお届けいただける場合は、このまま
0868-66-2038 まで送ってください。

✂ (切り取り線) ✂

のりしろ

のりしろ

議会にひとこと

あてはまる項目に○をしてください

問1 「議会だより」を読んでいますか。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 毎回読む | 2. 時々読む |
| 3. 今回初めて読んだ | 4. ほとんど読まない |

問2 「議会だより」を改善してほしい事柄についてお聞かせください。

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 表現がむずかしい | 2. 文字が多い |
| 3. 内容を簡略しすぎている | 4. 写真が少ない |
| 5. その他（ご自由にお書きください） | |

〔

〕

----- (谷折り この線に沿って内側に折ってください) -----

問3 今回の「議会だより」で最も関心が高かった記事をお聞かせください。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 議員の一般質問 | |
| 2. 定例会の報告 | 3. 各委員会の報告 |
| 4. その他（ご自由にお書きください） | |

〔

〕

問4 いま、町議会の改革を進めています。

あなたが求める議会改革とは…（ご自由にお書きください）

〔

〕

ご協力ありがとうございました。差しつかえなければご記入ください。

性 別	男性・女性	年 代	歳代
-----	-------	-----	----

のりしろ

のりしろ

のりしろ

のりしろ